

八重の生涯



写真:同志社大学提供

八重の略歴

1845(弘化 2):会津藩砲術指南役の家に生まれる。
1868(明治元):戊辰戦争で鶴ヶ城に籠城する。
1871(明治 4):兄・山本覚馬を頼って京都に移住する。
1876(明治 9):同志社大学創設者新島襄と結婚する。
1890(明治 23):夫・襄、永眠。
1932(昭和 7):八重、永眠。

新島八重は、2013 年 NHK 大河ドラマの主役に取り上げられ、八重に関する多くの出版物が刊行されています。会津藩砲術指南役の家に生まれた八重は、戊辰戦争で鉄砲を持参して鶴ヶ城に籠城しました。その後、兄・山本覚馬を頼って京都に移り住み、同志社大学創設者新島襄と結婚しています。夫・襄から、ハンサムな生き方だと言われた八重の生涯を、当館所蔵資料から紹介します。

会津藩士の娘、八重

請求記号

資料コード

「新島講座 東京公開講演会 第 30 回(2012) 新島八重の印象 その精神力について」 露口卓也/著 同志社 2013	289.1/N72	1110203468
「八重と会津落城」 星亮一/著 PHP 研究所 2013	S/210.61/H92	1110091061
「新島八重と戊辰戦争」 星亮一/著 ベストセラーズ 2012	S/210.61/H92	1110104252
「新島八重 とある会津女子の生涯」 久野潤/監修 晋遊舎 2012	S/289.1/N72	1110086038
「日本人の魂と新島八重」 櫻井よしこ/著 小学館 2012	S/289.1/N72	1110091079
「新島八重 おんなの戦い」 福本武久/著 角川書店 2012	289.1/N72	1110050679
「新島八重 愛と闘いの生涯」 吉海直人/著 角川学芸出版 2012	289.1/N72	1110064480
「新島八重と幕末 会津に咲いた八重の桜」 由良弥生/著 セブン&アイ出版 2012	289.1/N72	1110068044
「新島八重の維新」 安藤優一郎/著 青春出版社 2012	289.1/N72	1108797000
「新島八重 武家の女はまつげを濡らさない」 石川真理子/著 PHP 研究所 2012	289.1/N72	1110054887
「日本の元気印・新島八重」 本井康博/著 思文閣出版 2012	289.1/N72/11	1110035373
「山本八重 銃と十字架を生きた会津女子」 楠戸義昭/著 河出書房新社 2012	S/289.1/N72	1110071378
「川崎尚之助と八重 一途に生きた男の生涯」 あさくらゆう/著 知道出版 2012	289.1/Ka97	1110097811

新島襄の妻、八重

請求記号

資料コード

「新島八重子回想録」 同志社大学出版部 2012	289.1/N72	1110206636
「新島八重ものがたり」 山下智子/著 日本キリスト教団出版局 2012	289.1/N72	1110096672
「八重さん、お乗りになりますか」 本井康博/著 思文閣出版 2012	289.1/N72/12	1110096680
「牧師夫人新島八重」 雑賀信行/著 雑賀編集工房 2012	289.1/N72	1110103742
「新島八重 媚びず動ぜず凛として」 林洋海/著 上毛新聞社事業局出版部 2012	289.1/N72	1110102207
「新島襄と八重 同志の絆」 福本武久/著 原書房 2012	289.1/N72	1110068861
「新島八重 新島襄・八重夫妻の蒔いた一粒の麦」 みさきりゅうま/著 新人物往来社 2012	289.1/N72	1110068861
「新島八重と夫、襄」 本井康博・早川廣中/著 思文閣出版 2012	289.1/N72	1110013081
「新島八重と新島襄」 楠木誠一郎/著 PHP エディターズ・グループ 2012	S/289.1/N72	1110050679
「新島八重ハンサムな女傑の生涯」 同志社同窓会/編 淡交社 2012	289.1/N72	1110054887
「八重と新島襄」 保阪正康/著 毎日新聞社 2012	289.1/N72	1110076468
「八重・襄・覚馬 三人の出会い」 吉田曠二・坂井誠/著 芸艸堂 2012	281.04/Y86	1110083795

★背景のお城は国立公文書館デジタルアーカイブに収録されている「若松城写真 天守東南面図」、「若松城写真 天守西北面図」(裏面)です。八重が籠城した鶴ヶ城は、若松城、会津若松城、黒川城とも呼ばれ、「若松城跡」という名称で国の史跡に指定されています。

●八重の生涯

	請求記号	資料コード
「八重の桜・裏の梅」 本井康博／著 思文閣出版 2013	289.1/N72/13	1110320569
「サムライウーマン新島八重」 守部喜雅／著 いのちのことば社フォレストブックス 2013	289.1/N	1110130554
「2時間でよくわかる新島八重」 吉海直人／著 アスコム 2013	289.1/N	1110312715
「カメラが撮らえた新島八重・山本覚馬・新島裏の幕末」 明治吉海 直人／編著 中経出版 2013	281.04/Y89	1110307145
「すべてわかる新島八重とその時代」 武山憲明／著 日本文芸社 2013	289.1/N72	1110101027
「新島八重の生涯 八重を学ぼう八重に学ぼう」 同志社女子大学 2012	289.1/N72	1110211073
「サムライガール新島八重」 高野澄／著 祥伝社 2012	S/289.1/N72	1110130232
「新島八重 スペンサー銃からパイプルへ八十七年の軌跡」 笹川壽夫／著 新潟日報事業社 2012	289.1/N72	1110068036
「新島八重を歩く」 星亮一／編 潮書房光人社 2012	289.1/N72	1110025713
「新島八重の生涯 歴史物語」 吉村康／著 歴史春秋出版 2012	289.1/N72	1110035373
「ハンサムウーマン新島八重」 鈴木由紀子／著 NHK 出版 2012	289.1/N72	1110064498

●小説の中の八重

	請求記号	資料コード
「あした咲く花 新島八重の生きた日々」 菅野彰／著 イースト・プレス 2013	913.6/Su25	1110106505
「めぐり逢い 新島八重回想記」 鳥越碧／著 講談社 2012	913.6/To67	1110081385
「小説・新島八重」 福本武久／著 筑摩書房 2012	913.6/F77	1110078928
「新島八重その生涯」 不破俊輔／著 明日香出版社 2012	913.6/F98	1110055421
「ジョーの夢 新島裏と徳富蘇峰、そして八重」 増田晶文／著 講談社 2012	913.6/Ma66	1110081377
「明治の兄妹 新島八重と山本覚馬」 早乙女貢／著 新人物往来社 2012	913.6/Sa67	1110095617
「会津おんな戦記」 福本武久／著 埼玉福祉会 1991	D/913.6/F77	1100155447
「新島裏とその妻」 福本武久／著 新潮社 1983	F/F1/F	1100465135

●京都資料コーナーの八重

	請求記号	資料コード
「新島八重と同志社」 同志社 2012	K/377.28/D88	1110206503
「京に咲く同志の桜 新島八重・新島裏・山本覚馬の物語」 桜井裕子／著 海竜社 2012	K/281.04/Sa47	1110100268
「ハンサム・ウーマン新島八重と明治の京都」 鳥越一朗／著 ユニプラン 2012	KS/289.1/N72	1110069505
「同志社の母新島八重 The Life of Yaye Neesima」 同志社女子大学新島八重研究会／編 同志社女子大学 2012	K/289.1/N72	1107988907
「同志社の母新島八重」 同志社女子大学 2012	K/289.1/N72	1107988907
「新島八重の生涯 八重を学ぼう八重に学ぼう」 同志社女子大学 2012	K289.1/D88	1110202924
「新島八重の生涯」 青木繁男／著 ふるさと探訪クラブ 2012	K/289.1/N72	1107970483
「八重の桜 2013 年 NHK 大河ドラマ特別展」 京都文化博物館 2012	K/289.1/N72	1107988899

●トピックス 1

八重の直筆署名した本を当館で所蔵しています。

→「会津戊辰戦争 増補 白虎隊娘子軍高齢者之健闘」 平石弁蔵／著 丸八商店出版部 1928 (1103127278)

八重から聞き取りをして出版されたもので、同志社総長事務取扱を務めていた中村栄助氏に贈られたものと思われます。

元京都府議高山寛氏が京都府立総合資料館に寄贈した資料のうちの一冊で、高山寛氏の父高山義三氏(元京都市長)は中村栄助氏の3男です。当館の新館開館に伴い、2000(平成12)年に京都府立総合資料館から移管されました。

●トピックス 2

八重は「婦人世界」4巻13号(明治42年11月)に体験記「男装して会津城に入りたる当時の苦心」を書いています。

→「女性のみた近代 2 別巻2 アンソロジー女と戦争」 ゆまに書房 2005 (1108920834)

●トピックス 3

八重は、裏が亡くなった後、裏千家の茶人「新島宗竹」として活躍します。

→「新島八重の茶事記」 筒井絃一／著 小学館 2013 (1110093117)